

今年も大盛況!! 屋久島ふるさと産業祭

「4月22日」屋久島町民すこやかふれあいセンターで、第9回屋久島ふるさと産業祭が盛大に開催され、約2,000人の来場者で賑わいました。

J A種子屋久からも多数の職員が参加し、今年は鹿児島黒牛の全国和牛能力共進会団体総合優勝を記念し、屋久島で生まれた和牛黒牛のサイコロステーキの無料提供と花き等を販売しました。どちらの売り場も販売開始前から行列ができており、和牛サイコロステーキは、準備した60キロの肉が約1時間半で完売となりました。

▶サイコロステーキの無料提供



◀花きの販売も2時間ほどで完売しました。

J A種子屋久 新入学記念品贈呈式

「4月3日」J A種子屋久は、各支所ごとに管内小学校の新入学生を対象に記念品を贈呈しました。

今年は、西之表市役所教育長室で贈呈式が行われ、当J Aの鮫島忠雄組合長より西之表市の新入学生約130名に対して鉛筆と国語、算数のノートが大平和男教育長に手渡されました。

大平和男教育長は、「子供たちのために大事に使わせていただきます。」と述べられました。



▲贈呈式の様子

安納小学校 さとうきびの植え付け体験



「4月20日」

J A種子屋久は、西之表市の安納小学校で島の基幹作物であるさとうきびに関する出前授業を開催し、小学5、6年生10名の生徒と一緒にさとうきびの植え付けを行いました。

安納小学校では、15年以上前からさとうきびを栽培しており、今回は4年ぶりの植え付けとなりました。毎年、さとうきびを使った黒糖づくりやバカス(さとうきびの絞りかす)を生かした和紙をつくり、卒業証書にしています。

戸川営農指導員が植え付け方や育て方を説明し、子ども達は、約300本の穂種を植えました。

最後に、代表して日高大斗君が「責任を持って育てていきたいです。」と、これからの意気込みを語りました。

